

新たな総合計画の策定及び都市計画マスタープランの改定に係る

第2回まちづくり市民会議 結果概要

《日 時》 平成27年2月22日(日) 13時から15時まで

《場 所》 鴨川市総合運動施設 文化体育館2階会議室

《テーマ》 施策の満足度・重要度評価と重点課題

《出席者数》 22名

○生活基盤.....	6 名
○産業振興.....	5 名
○教育文化.....	4 名
○保健福祉.....	7 名

《傍聴者数》 3名

1 開会・あいさつ

杉田企画政策課長より、開会に当たってのあいさつを行いました。

【要旨】本日の第2回会議では、4つの分野ごとにグループワークを行っていただき、施策ごとの満足度及び重要度の分析に加え、その中から重要課題を抽出していただくこととしている。最終的に取りまとめられた内容は、可能な限り新たな総合計画等に反映させて参りたいと考えており、前回に引き続き、忌憚の無い、積極的なご意見ご発言をお願いしたい。



2 ワークショップの進め方の説明

配布資料に基づき、ワークショップの全体の流れと第1回目の結果及び第2回目の進め方を説明しました。

3 グループワーク

4つの分野（生活基盤・産業振興・教育文化・健康福祉）ごとにグループワークを行いました。

【ワーク①】 施策ごとの満足度評価

各分野に関連する施策カードごとに意見交換を行いながら、満足度・重要度の相関関係図に貼る作業を行いました。



<生活基盤>



<産業振興>



<教育文化>



<健康福祉>

【ワーク②】 鴨川市の強み・弱みの検証

施策カードごとに、なぜ満足度が高いか（まちの強み）、なぜ満足度が低い（まちの弱み）について、意見を書いたふせんを貼る作業を行いました。



＜生活基盤＞



＜産業振興＞



＜教育文化＞



＜健康福祉＞

【ワーク③】 重要課題の抽出

重要だと思う意見に1人3つまでシールを貼り、最終的に分野ごとの重要課題を2つ抽出しました。



＜生活基盤＞



＜産業振興＞



＜教育文化＞



＜健康福祉＞

4 全体確認（発表）・まとめ・閉会

グループワークの結果により、各グループから発表された施策の評価と重点課題は以下のとおりでした。



＜生活基盤＞



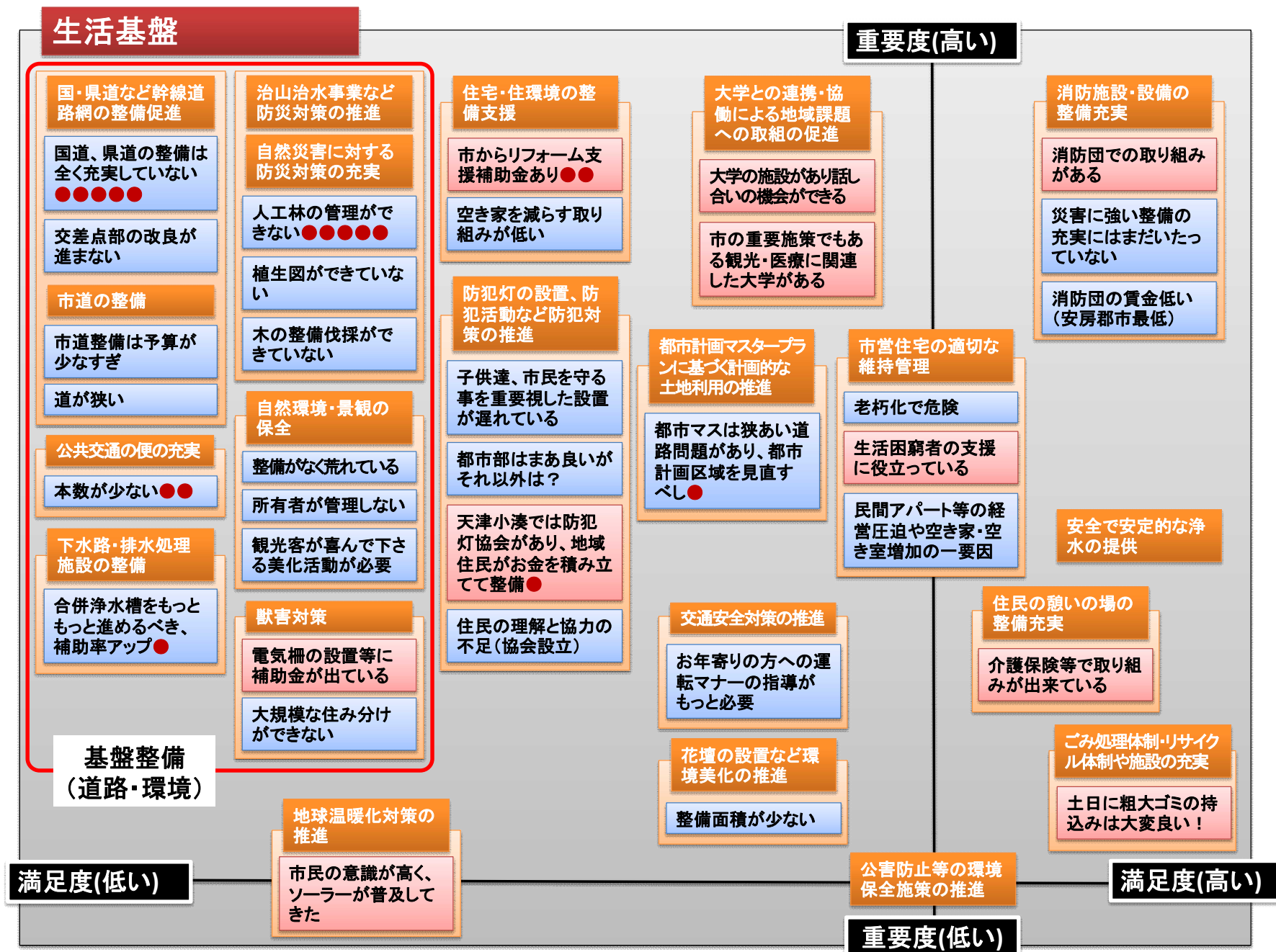
＜産業振興＞



＜教育文化＞



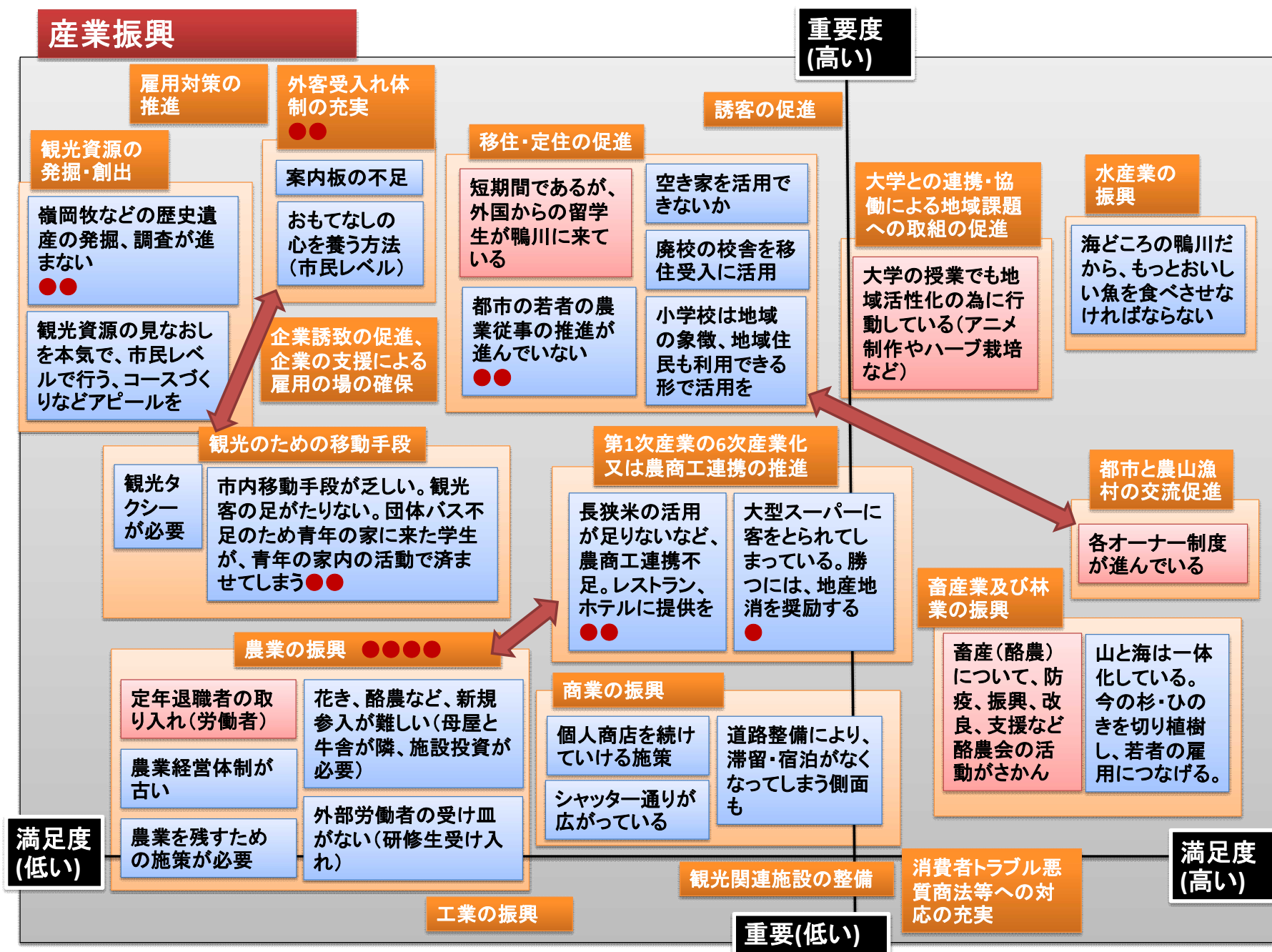
＜健康福祉＞



生活基盤 ～施策別「強み」と「弱み」のまとめ～		
施策	強み（満足度が高い理由）	弱み（満足度が低い理由）
ごみ処理体制・リサイクル体制や施設の充実	・ 土日に粗大ゴミの持込みは大変良い！	—
住民の憩いの場の整備 充実	・ 介護保険等で取り組みが出来ている	—
大学との連携・協働による地域課題への取組の促進	・ 大学の施設があり話し合いの機会ができる ・ 市の重要施策でもある観光・医療に関連した大学がある	—
地球温暖化対策の推進	・ 市民の意識が高く、ソーラーが普及してきた	—
消防施設・設備の整備 充実	・ 消防団での取り組みがある	・ 災害に強い整備の充実にはまだいたっていない ・ 消防団の賃金が低い（安房郡市最低）
住宅・住環境の整備支援	・ 市からリフォーム支援補助金あり	・ 空き家を減らす取り組みが低い
防犯灯の設置、防犯活動など防犯対策の推進	・ 天津小湊では防犯灯協会があり、地域住民がお金を積み立てて整備	・ 住民の理解と協力の不足（協会設立） ・ 都市部はまあ良いがそれ以外は？ ・ 子供達、市民を守る事を重要視した設置が遅れている
市営住宅の適切な維持管理	・ 生活困窮者の支援に役立っている	・ 老朽化で危険 ・ 民間アパート等の経営圧迫や空き家・空き室増加の一要因
都市計画マスタープランに基づく計画的な土地利用の推進	—	・ 都市マスは狭あい道路問題があり、都市計画区域を見直すべし
花壇の設置など環境美化の推進	—	・ 整備面積が少ない
交通安全対策の推進	—	・ お年寄りの方への運転マナーの指導がもっと必要
下水路・排水処理施設の整備	—	・ 合併浄水槽をもっともっと進めるべき、補助率アップ

生活基盤 ～施策別「強み」と「弱み」のまとめ～		
施策	強み（満足度が高い理由）	弱み（満足度が低い理由）
国・県道など幹線道路網の整備促進	—	・ 国道、県道の整備は全く充実していない ・ 交差点部の改良が進まない
市道の整備	—	・ 道が狭い ・ 市道整備は予算が少なすぎ
公共交通の便の充実	—	・ 本数が少ない
自然災害に対する防災対策の充実	—	・ 木の整備伐採ができていない
治山治水事業など防災対策の推進	—	・ 人工林の管理ができない ・ 植生図ができていない ・ 整備がなく、荒れている ・ 所有者が管理しない ・ 観光客が喜んで下さる美化活動が必要
自然環境・景観の保全		
獣害対策	・ 電気柵の設置等に補助金が出ている	・ 大規模な住み分けができない

生活基盤 ～重要課題の抽出～
① 基盤整備（道路改良・自然環境） 【理由】ボトルネックに起因する道路渋滞の顕在化 河川における水質汚濁の進行（対策案：合併浄化槽のより一層の推進） 野生鳥獣による森林被害の増加（対策案：有害鳥獣対策のより一層の推進）
② 住環境整備（狭あい道路・空家対策） 【理由】狭あい道路に起因する生活・交通・安全上の支障 空き家の急速な増加 市営住宅の老朽化



産業振興 ～施策別「強み」と「弱み」のまとめ～		
施策	強み（満足度が高い理由）	弱み（満足度が低い理由）
都市と農山漁村の交流促進	・各オーナー制度が進んでいる	—
大学との連携・協働による地域課題への取組の促進	・大学の授業でも地域活性化の為に行動している（アニメ制作やハーブ栽培など）	—
畜産業及び林業の振興	・畜産（酪農）について、防疫、振興、改良、支援など酪農会の活動がさかん	・山と海は一体化している。今の杉・ひのきを切り植樹し、若者の雇用につなげる
移住・定住の促進	・短期間であるが、外国からの留学生が鴨川に来ている	・空き家を活用できないか ・廃校の校舎を移住受入に活用 ・小学校は地域の象徴、地域住民も利用できる形で活用を ・都市の若者の農業従事の推進が進んでいない
農業の振興	・定年退職者の取り入れ（労働者）	・農業を残すための施策が必要 ・農業経営体制が古い ・外部労働者の受け皿がない（研修生受け入れ） ・花き、酪農など、新規参入が難しい（母屋と牛舎が隣、施設投資が必要）
水産業の振興	—	・海どころの鴨川だから、もっとおいしい魚を食べさせなければならない
第1次産業の6次産業化又は農商工連携の推進	—	・長狭米の活用が足りないなど、農商工連携不足。レストラン、ホテルに提供を ・大型スーパーに客をとられてしまっている。勝つには、地産地消を奨励する
商業の振興	—	・シャッター通りが広がっている ・個人商店を続けていける施策 ・道路整備により、滞留・宿泊がなくなってしまう側面も

産業振興 ～施策別「強み」と「弱み」のまとめ～		
施策	強み（満足度が高い理由）	弱み（満足度が低い理由）
観光のための移動手段	—	・市内移動手段が乏しい。観光客の足がたりない。団体バス不足のため青年の家に来た学生が、青年の家内の活動で済ませてしまう ・観光タクシーが必要
外客受入れ体制の充実	—	・案内板の不足 ・おもてなしの心を養う方法（市民レベル）
観光資源の発掘・創出	—	・嶺岡牧などの歴史遺産の発掘、調査が進まない ・観光資源の見なおしを本気で、市民レベルで行う、コースづくりなどアピールを

産業振興 ～重要課題の抽出～
① 第一次産業の振興 【理由】 農業者の後継者不足（対策案：都市住民に対する新規就農研修の実施） 新鮮で豊富な食材のPR不足（対策案：地産地消の推進）
② 観光産業の振興 【理由】 市内における移動手段の不足（対策案：観光タクシーの導入） 地域資源の活用不足（対策案：観光資源としての掘り起こし）

『教育文化』のグループワーク結果

…施策カード

…まちの強み

…まちの弱み

…重点シール

教育文化

重要度
(高い)

テーマ:人を育てる

- ・優秀
- ・地域を愛している

市への
愛着育む

目指す

通園・通学における
安全性の確保

交通事故の発生件数
はどのくらいなのか



青少年健全育成活動
の促進

指導者不足、サ
ポート体制不足

新たな会館施設の
整備促進

市民の芸術・文化
活動の振興

学校給食の充実

たくさんの
メニューが
あるが、食
べ物の組
み合わせ
に問題が
ある

幼児教育
の振興

地域の人
材を活用
できる

学校教育の
振興

人材の不足(子
どもに応じた多
様なケアが必要)
●●
一方で、安易に
地域の人材を入
れると様々な問
題が生じる

地産地消、
地元食材
使用率を
知らない

地域との
関わりの
希薄化

現市民会館とギャラリー
が近年中で使えなくなる
ため、新しい会館がどう
なるのか?

新たな会館について、決
めてもらえれば良い

夢かもしれないが、
市立美術館があれば
良い

市民の意識として、
文化に興味を持っ
ていない

小中学校施設の耐震
化事業の推進

命にかかわること
である

現実的に耐震化
工事は進んでい
る

大学との連携・協
働による地域課題
への取組の推進

小さい頃から
高等教育に触
れる良い機会
●●●●

交流の好機で
ある
2大学の開学
設立を好機で
ある

大学関連教育
研究機関との
交流の促進

地域での一
貫した教育
環境を提供
する

●
市民に関
心ある
テーマで
講演して
もらいたい

体験教室や公民館活動な
ど生涯学習活動の振興

第2の人生を楽しむのに、
色々工夫したいが充実して
いない(施設、運営費用)

お年寄りが多いが、
活発に活動する活
力のあるリーダーが
いない

待機児童

共働きの家が多く
なり、親の帰りを待
つ子供が増えた

歴史資源や文化財の適
切な保全及びその活用

現代では、多様
な媒体を使って
発信できる

活用がどのよう
にされているのか知
らないのでは

幼保一元化の
推進

●
幼保一元化の枠
組は既決の通り

小中学校の統
廃合による学校
の適正配置等
の推進

学級の人
数がある
程度いな
いと成立
しない

小学校や幼保が
一元化により、関
わる人の数が長時
間変わらずにいら
れる

たくさんの人が関
われ、子どもの多
様性につながる

親の働く時間の確保が可能となる

公民館、図
書館など社
会教育施設
の整備

読み聞かせの会
が充実しているた
め、聞きにくる人
たちが多い

近年、本を購入
する予算が増え
てきている

利用されている人
が少ない

国際交流、姉妹・
友好都市との交
流活動の促進

具体的にどの
ようなことを
やっているの
かわからない
情報発信不足

スポーツ施設
の整備充実

市民スポ
ーツの振興

スポーツと
健康の関
係

市の規模
の割には
充実して
いると思う
(ロッテな
ど使う)

満足度
(低い)

小中学校の統廃
合に伴う遊休施
設の有効活用

積極的に再活用
を検討したい(文
化・老人等)

アイデア不足、機
会不足、資金不
足、人手不足

満足度
(高い)

重要度
(低い)

教育文化 ～施策別「強み」と「弱み」のまとめ～		
施策	強み（満足度が高い理由）	弱み（満足度が低い理由）
小中学校施設の耐震化事業の推進	・命にかかわることである ・現実的に耐震化工事は進んでいる	—
小中学校の統廃合による学校の適正配置等の推進	・学級の人数がある程度いないと成立しない ・たくさんの人が関われ、子どもの多様性につながる ・幼保一元化の枠組は既決の通り ・親の働く時間の確保が可能となる ・小学校や幼保の一元化により、関わる人の数が長期間変わらずにいられる	—
幼保一元化の推進		
スポーツ施設の整備充実	・市の規模の割には充実していると思う（ロッテなど使う）	・スポーツと健康の関係
市民スポーツの振興		
歴史資源や文化財の適切な保全及びその活用	・現代では、多様な媒体を使って発信できる	・活用がどのようにされているのか知らないのではないか
公民館、図書館など社会教育施設の整備	・読み聞かせの会が充実しているため、聞きにくる人が多い ・近年、本を購入する予算が増えてきている	・利用されている人が少ない
幼児教育の振興	・地域の人材を活用できる	・地域との関わりの希薄化 ・人材の不足（子どもに応じた多様なケアが必要） ・一方で、安易に地域の人材を入れると様々な問題が生じる
学校教育の振興		
大学との連携・協働による地域課題への取組の推進	・小さい頃から高等教育に触れる良い機会 ・交流の好機である ・2大学の開学設立は好機である	・地域での一貫した教育環境を提供する ・市民に関心あるテーマで講演してもらいたい
大学関連教育研究機関との交流の促進		
小中学校の統廃合に伴う遊休施設の有効活用	・積極的に再活用を検討したい（文化・老人等）	・アイデア不足、機会不足、資金不足、人手不足
学校給食の充実	—	・たくさんのメニューがあるが、食べ物の組み合わせに問題がある ・地産地消、地元食材使用率を知らない

教育文化 ～施策別「強み」と「弱み」のまとめ～		
施策	強み（満足度が高い理由）	弱み（満足度が低い理由）
市民の芸術・文化活動の振興	—	・夢かもしれないが、市立美術館があれば良い ・市民の意識として、文化に興味を持っていない ・現市民会館とギャラリーが近年中で使えなくなるため、新しい会館はどうなるのか？ ・新たな会館施設について、決めてもらえれば良い
新たな会館施設の整備促進		
国際交流、姉妹・友好都市との交流活動の促進	—	・具体的にどのようなことをやっているのかわからない ・情報発信不足
青少年健全育成活動の促進	—	・指導者不足、サポート体制の不足
体験教室や公民館活動など生涯学習活動の振興	—	・第2の人生を楽しむのに、色々工夫したいが充実していない（施設、運営費用） ・お年寄りが多いが、活発に活動する活力のあるリーダーがいない
通園・通学における安全性の確保	—	・交通事故の発生件数はどのくらいなのか
待機児童	—	・共働きの家が多くなり、親の帰りを待つ子供が増えた

教育文化 ～重要課題の抽出～
① 大学と地域による一体的な連携 【理由】市内に立地している大学との連携の不足（対策案：市内の保育園、幼稚園、小学校及び中学校教育との連携）
② 地元への愛を育てる 【理由】地域愛を育む施策の不足（対策案：鴨川市ならではの教育の実施＝他の地域との差別化）

健康福祉

重要度
(高い)

子育て支援施策の促進

子育て支援、ファミリーサポートセンター機能分かりにくい
●

子育てに金銭がかかるので子供が増えない

保育サービスの充実、施設の整備

子育て世代の働き方にマッチしていない
●●●●

保育所の不足、時間外保育少ない
●

一次保育の施設ない
●

鴨川は共働きの街なので、公共保育施設や一般の保育所がもっとあってもいい

鴨川市のHPが見にくいし、サービスがあるならもっとPRして欲しい

高齢者施策の充実

一部の地域で買い物タクシーがあるので、市でも欲しい

独居高齢者の施策が見えない(買物、通院)
●

医療、療養施設が少ない
●

特養老人ホームは空きがない、待機者が多い
●

障害者施策の充実

障害者の働く場所が少ない

地域における健康づくりの活動

市民が積極的に取り組んでいる

健康に対する住民の意識が低い
●●

施設の利用しやすさが足りない
●

子どもの糖尿病が多くなっている、子供の健康づくりも考えて欲しい
●

若い人に来てもらいたい
●

存在していることがあまり知られていない

限定された対象者のみの参加活動

健康において、地域活動と呼べるものになっていない。市全体で行ってもよいと思う

低所得世帯等への社会保障の充実

低所得者施策が見えて来ない

地域医療環境の充実

地区ごとに町医者がおり、大きな病気は亀田病院があるので安心
●

亀田総合病院がある
●

24時間救急がある(どの地域からも近い)

国保病院が地域密着型で良い
●

総合病院があるどの地域からも近い

病院に近いため薬にたよる人が多い

利用しやすさで選べない

大学との連携・協働による地域課題への取組の促進

一般の人が講義を聞く事ができる

大学の行事に参加

学生が地域に出て行く場が少ない
●

学生の参加が少ない

学生との交流が少ない

保健サービスの充実・促進

健康診断、受診通知がしつこいくらいくる
●

バス送迎がある

若い人達の健診も必要だと
●

総合健診会場の数

満足度
(低い)重要度
(低い)満足度
(高い)

健康福祉 ～施策別「強み」と「弱み」のまとめ～		
施策	強み（満足度が高い理由）	弱み（満足度が低い理由）
地域医療環境の充実	・ 国保病院が地域密着型で良い ・ 地区ごとに町医者があり、大きな病気は亀田病院があるので安心 ・ 亀田総合病院がある ・ 24 時間救急がある（どの地域からも近い） ・ 総合病院があるどの地域からも近い	・ 利用しやすさで選べない ・ 病院に近いため薬にたよる人が多い
保健サービスの充実・促進	・ 健康診断、受診通知がしつこいくらいくる ・ バス送迎がある	・ 若い人達の健診も必要だと ・ 総合健診会場の数
大学との連携・協働による地域課題への取組の促進	・ 大学の行事に参加 ・ 一般の人が講義を聞く事ができる	・ 学生が地域に出て行く場が少ない ・ 学生の参加が少ない ・ 学生との交流が少ない
地域における健康づくりの活動	・ 市民が積極的に取り組んでいる	・ 健康に対する住民の意識が低い ・ 子どもの糖尿病が多くなっている、子供の健康づくりも考えて欲しい ・ 施設の利用しやすさが足りない ・ 若い人に来てもらいたい ・ 存在していることがあまり知られていない ・ 限定された対象者のみの参加活動 ・ 健康において、地域活動と呼べるものになっていない。市全体で行ってもよいと思う
高齢者施策の充実	・ 一部の地域で買い物タクシーがあるので、市でも欲しい	・ 医療、療養施設が少ない ・ 特養老人ホームは空きがない、待機者が多い ・ 独居高齢者の施策が見えない（買物、通院）
障害者施策の充実	—	・ 障害者の働く場所が少ない
子育て支援施策の促進	—	・ 子育てに金銭がかかるので子供が増えない ・ 子育て支援、ファミリーサポートセンターの機能が分かりにくい

健康福祉 ～施策別「強み」と「弱み」のまとめ～		
保育サービスの充実、施設の整備	—	・子育て世代の働き方にマッチしていない ・一時保育の施設がない ・保育所の不足、時間外保育が少ない ・鴨川は共働きの街なので、公共保育施設や一般の保育所がもっとあってもいい ・鴨川市のHPが見にくいし、サービスがあるならもっとPRして欲しい
低所得世帯等への社会保障の充実	—	・低所得者施策が見えて来ない

健康福祉 ～重要課題の抽出～
① 子育て世代の生活・働き方に施設や内容がともなっていない
【理由】子育て世代のニーズに合致しない施策の展開（対策案：保育施設等の土日運営など）
② 健康づくりに対する市民の意識向上への働きかけが弱い
【理由】関連施策のPR不足。 地域活動と呼べるような健康づくりが見受けられない。

配布資料

(1) 第2回鴨川市まちづくり市民会議のプログラム

(2) 参加者名簿(テーマ別)

(3) 第1回鴨川市まちづくり市民会議結果概要

※(3)については、市ホームページ掲載上省略

新たな総合計画の策定及び都市計画マスタープランの改定に係る 第2回鴨川市まちづくり市民会議のプログラム

日時：平成27年2月22日（日）

13:00～15:00

場所：鴨川市総合運動施設

文化体育館2階会議室

《テーマ》

～施策の満足度・重要度評価と重点課題～

①開会・あいさつ

②ワークショップの進め方の説明

- ・ ワークショップの全体の流れを説明します。
- ・ 第1回目の結果及び第2回目の進め方を説明します。

③グループワーク

- ・ 4つのテーマ（生活基盤・産業振興・教育文化・健康福祉）ごとにグループワークを行います。



【ワーク①】施策ごとの満足度評価

- ・ 施策カードを、満足度・重要度の相関関係図に貼っていきます。

【ワーク②】鴨川市の強み・弱みの検証

- ・ 施策ごとに、なぜ満足度が高いか（強み）、なぜ満足度が低い（弱み）を検証します。

【ワーク③】重要課題の抽出

- ・ 重要だと思う意見に1人3つまでシールを貼り、最終的に重要課題を2つ抽出します。

④全体確認・まとめ

- ・ 本日の成果を発表し、まとめます。

⑤閉会

【ワークショップのルール】

- ・ 自分の主張ばかりせず、相手の話を聞きましょう。
- ・ 人の意見を否定しないようにしましょう。
- ・ 相手の意見のいいところを見つけましょう。
- ・ 進行役の言うことをしっかりと聞きましょう。
- ・ テーマにそった話をしましょう。
- ・ 楽しく、積極的に参加しましょう。



裏面へ続く（今後の予定について）

「まちづくり市民会議」の今後の予定

第1回 日時：平成27年1月24日（土）午後1時～午後3時30分
（今回） 場所：鴨川市役所 4階大会議室

～10年後の鴨川市を考える～（かもカフェ）

- まちづくり市民会議の趣旨、進め方
- ワークショップの進め方の説明
- かもカフェ（参加者30名を5つのグループに分けて“10年後の鴨川市”を考える）
- 全体確認・まとめ・閉会
 - ・各テーブルでキーワードを3つ提案し、まちの将来像の参考とします。



第2回 日時：平成27年2月22日（日）午後1時～午後3時
場所：鴨川市総合運動施設 文化体育館 2階会議室

～施策の満足度・重要度評価と重点課題～

- ※4つのテーマ（生活基盤・産業振興・教育文化・健康福祉）ごとにグループ分け
- 各テーマの施策の満足度・重要度分析
- 各テーマの重点課題を抽出



第3回 日時：平成27年3月28日（土）午後1時～午後3時
場所：鴨川市役所 4階大会議室

～理想の鴨川市を実現するための取組を提案～

- 重点課題に対する取組の検討・提案
 - ・第1回目に出された「10年後の鴨川市」を実現するための取組をテーマ別に検討・提案
 - ・重要な取組の抽出
- ※ワールド・カフェ方式で行い、自分が所属するテーマ以外の取組も提案



平成27年4月以降に第4回～第6回のまちづくり市民会議を予定しています。この第4回～第6回では地区ごとのグループ討議を行う予定です。

鴨川市まちづくり市民会議参加者名簿(テーマ別)

(1) 生活基盤

(順不同・敬称略)

No.	氏 名	地区	備 考
1	平野 義孝(ひらの よしたか)	小湊	公募委員
2	飯島 眞澄(いじま ますみ)	江見	〃
3	唐鎌 稔(からかま みのる)	天津	一般社団法人鴨川市観光協会
4	高梨 陽市(たかなし よういち)	吉尾	鴨川市商工会
5	黒木 健一(くろき けんいち)	東条	鴨川ライオンズクラブ
6	黒川 洋子(くろかわ ようこ)	田原	鴨川市消防団(女性消防隊)
7	畠山 秀行(はたけやま ひでゆき)	鴨川	一般社団法人千葉県建築士会安房支部青年委員会
8	高梨 道広(たかなし みちひろ)	田原	鴨川市ケアマネージャー連絡協議会

(2) 産業振興

(順不同・敬称略)

No.	氏 名	地区	備 考
1	石田 三示(いしだ みつじ)	大山	特定非営利活動法人大山千枚田保存会
2	野村 久子(のむら ひさこ)	田原	公募委員
3	伊丹 一茂(いたみ かずしげ)	太海	一般社団法人鴨川市観光協会
4	樋口 洋子(ひぐち ひろこ)	江見	鴨川市商工会
5	飯塚 和夫(いづか かずお)	西条	安房農業協同組合鴨川支店
6	糟谷 英文(かすや ひでふみ)	吉尾	鴨川市酪農会
7	高梨 如美(たかなし ゆきみ)	大山	城西国際大学観光学部(学生)
8	羽鳥 航平(はとり こうへい)	曾呂	〃

(3) 教育文化

(順不同・敬称略)

No.	氏 名	地区	備 考
1	高橋 由(たかはし ちなむ)	鴨川	鴨川不動産鑑定事務所
2	川名 慶子(かわな けいこ)	鴨川	一般財団法人鴨川青年会議所
3	花山 藤太郎(はなやま とうたろう)	鴨川	鴨川市体育協会
4	草間 剛(くさま つよし)	江見	鴨川市文化協会
5	田原 智之(たばら ともゆき)	西条	鴨川市漁業協同組合
6	村永 匠(むらなが たくみ)	西条	亀田医療大学(学生)
7	濱崎 順治(はまざき じゅんじ)	西条	鴨川小学校(教諭)

(4) 健康福祉

(順不同・敬称略)

No.	氏 名	地区	備 考
1	古橋 博子(ふるはし ひろこ)	田原	鴨川市みんなで育て鯛! まちづくり支援事業審査委員会
2	久根崎 克美(くねざき かつみ)	天津	公募委員
3	佐竹 光雄(さたけ みつお)	鴨川	〃
4	高島 祐貴(たかしま ゆうき)	東条	一般財団法人鴨川青年会議所
5	奈良 節子(なら せつこ)	天津	鴨川市食生活改善協議会
6	栗原 博之(くりはら ひろゆき)	主基	主基地区社会福祉協議会
7	福山 鈴佳(ふくやま すずか)	田原	亀田医療大学(学生)

※ 各グループNo.1の方が「グループリーダー(進行役)」となります。